

安全データシート (SDS)

作成： 2016年 9月 8日

改訂： 2025年 1月 1日

1. 【化学品及び会社情報】

製品名 : PK-103、PK-105 スーパーシーラー
会社名 : 三喜工業株式会社
住所 : 千葉県千葉市中央区今井1-4-16
担当部門 : 企画開発部
電話番号 : 043-262-8100
FAX番号 : 043-263-2638
緊急連絡先 : 043-262-8100
推奨用途及び使用上の制限 : シール材
整理番号 : SE2409061

2. 【危険有害性の要約】

GHS分類 : 区分に該当しない/分類出来ない
GHSラベル要素
絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : GHS分類に該当しない
注意書き : GHS分類に該当しない

3. 【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区分 : 混合物
化学名又は一般名 : NBRゴム系シーリング材

成分及び含有量

成分	含有率 (重量%)	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法)
酸化チタン (IV)	0.7以上1未満	13463-67-7	1-558
三酸化ニアンチモン	1.0~4.0	1309-64-4	1-543
塩化直鎖パラフィン (炭素数14~17)	5.0~9.0	85535-85-9	2-68

4. 【応急措置】

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。呼吸のしやすい姿勢で休憩させ、必要に応じて医療措置を受けること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激があれば、医療処置を受けること。
眼に入った場合 : 清浄な水で十数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
眼の刺激が持続する場合は、医療処置を受けること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと
無理に吐かせないで、医療処置を受ける。

最も重要な兆候及び症状 : 有用な情報なし。
に関する簡潔な情報

応急措置をする者の保護 : 有用な情報なし。
医師に対する特別注意事項 : 有用な情報なし。

5. 【火災時の措置】

適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤 : 知見なし
火災時の特定危険有害性 : 知見なし
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断つ。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、風上から行い、必ず保護具を着用する。

6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。
大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項 : 河川、下水道等に排出されないよう注意する。
回収、中和並びに封じ込め及び浄化の方法・機材 : 知見なし
二次災害の防止策 : 全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い
技術的対策 : 数量3,000kg 以上については指定可燃物に該当する。
指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
取扱いには適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気 : 必要に応じて、局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
接触、吸収又は飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
接触回避 : 有用な情報なし
保管
安全な保管条件 : 熱、花火、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙のこと。
酸化剤から離して保管すること。
混触危険物質 : 特になし
安全な容器包装材料 : 特に制約なし

8. 【ばく露防止及び保護措置】

管理濃度	： 設定されていない
許容濃度（日本産業衛生学会）	： 設定されていない
（ACGIH）TWA	： 設定されていない
設備対策	： 蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸器用保護具	： 必要に応じて、防塵マスクを着用する。
手の保護具	： 必要に応じて、保護手袋を着用する。
眼の保護具	： 必要に応じて、保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	： 必要に応じて、保護長靴、防災面、保護衣等を着用する。

9. 【物理的及び化学的性質】

物理的状态	
形状	： ロール状
色	： 白色
臭い	： 微臭あり
沸点又は初留点及び沸騰	： データなし
範囲可燃性	： データなし
爆発下限界及び爆発上限	： データなし
界／可燃限界	
引火点	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
p H	： データなし
動粘性率	： データなし
蒸気圧	： データなし
密度及び／又は相対密度	： 1.6g/cm ³
相対ガス密度	： データなし
粒子特性	： データなし

10. 【安定性及び反応性】

反応性	： 通常の保管、使用で分解することはない。
化学的安定性	： 常温、常圧で安定である。
危険有害反応可能性	： 推奨保管条件下で安定である。
避けるべき条件	： 知見なし
混触危険物質	： 知見なし
危険有害な分解生成物	： 燃焼の際は、煙、一酸化炭素等が発生される。

11. 【有害性情報】

急性毒性(経口)	： 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	： 分類できない
急性毒性(吸入：気体)	： 分類対象外

急性毒性(吸入：蒸気)	： 分類できない
急性毒性(吸入：粉塵)	： 分類できない
急性毒性(吸入：ミスト)	： 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： 分類できない
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 三酸化二アンチモンを含有していることから、GHS 分類の判定基準により区分1B とした。
生殖毒性	： 塩化直鎖パラフィン（炭素数14～17）を含有していることから、GHS 分類の判定基準により区分1B とした。
生殖毒性・授乳影響	： 塩化直鎖パラフィン（炭素数14～17）を含有していることから、GHS 分類の判定基準により追加区分とした。
特定標的臓器（単回ばく露）	： 分類できない
特定標的臓器（反復ばく露）	： 混合物GHS 分類の判定基準により区分2（呼吸器、腎臓、甲状腺）とした。
誤えん性有害性	： 分類できない

12. 【環境影響情報】

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	： 混合物GHS 分類の判定基準により区分1 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	： 混合物GHS 分類の判定基準により区分1 とした。
残留性・分解性	： 知見なし
生態蓄積性	： 知見なし
土壤中の移動性	： 知見なし
オゾン層への有害性	： 知見なし
その他	： 海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放置してはならない。

13. 【廃棄上の注意】

残余廃棄物	： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	： 内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理する。

14. 【輸送上の注意】

国際規制	
国連分類、品名等	： 非該当
国連番号	： なし
国内規制	： 下記、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
陸上輸送	： 消防法、危険物に該当しない。3000kg以上は指定可燃物（可燃性固体物）
海上輸送	： 船舶安全法、非該当
航空輸送	： 航空法、非該当

15. 【適用法令】

国内法令

- 消防法 : 危険物に該当しない。3000kg 以上は指定可燃物（可燃性固体類）
- 化学物質管理促進法(PRTR) : 三酸化二アンチモン 第一種 政令番号1-048
塩化直鎖パラフィン 第一種 政令番号1-090
- 労働安全衛生法 : 酸化チタン 令別表第9 の191（令和7 年3 月31 日以前施行）
規則別表第2 の623（令和7 年4 月1 日施行）
三酸化二アンチモン 令別表第9 の38（令和7 年3 月31 日以前施行）
令別表第9 の5（令和7 年4 月1 日施行）
- 毒物劇物取締法 : 非該当

16. 【その他の情報】

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項等は、通常の取扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、取扱いをお願い致します。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、注意して取扱いをお願い致します。